

HIDEJIRO HONJOH THE PERFORMANCE OF THE SHAMISEN

# 本條秀慈郎

## 三味線公演

### 「蒼き鼓動」

～言葉と舞にトキめく!!三味線の"いま"～

特別ゲスト

平山 素子  
(コンテンポラリー・ダンサー)



©池上直哉

解説

野川 美穂子

演出家 故蜷川幸雄から絶賛され、国内外で活躍する当代屈指の三味線奏者の本條秀慈郎が、端唄や現代邦楽を演奏。

千葉県出身の新進気鋭の作曲家・小出稚子による委嘱作品を初演するほか、振付家・ダンサーの平山素子をゲストに迎えた邦楽とダンスのコラボレーションは必見!三味線の紹介、楽曲の解説もお楽しみください。

日時

令和7年3月9日(日) 13:30開場  
14:00開演

会場

青葉の森公園芸術文化ホール

チケット

全席自由 一般2,000円 U-30 1,000円 小中高生500円

※未就学児入場不可

【プレイガイド】

青葉の森公園芸術文化ホール 043-266-3511

千葉県東総文化会館 0479-64-2001

千葉県南総文化ホール 0470-22-1811

インターネット予約



【主催】



公益財団法人  
千葉県文化振興財団

【後援】

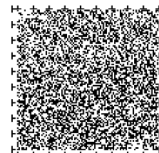
千葉県、千葉市、佐倉市  
千葉市・市原市・習志野市・八千代市・四街道市・  
八街市・東金市・大網白里市・茂原市  
各教育委員会

【助成】



文化庁文化芸術振興費補助金  
劇場・音楽堂等機能強化推進事業  
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会

【問合せ】青葉の森公園芸術文化ホール 043-266-3511



この音声コードをスマホアプリ  
(Uni-Voice)で読み取ると音声情報で  
ご確認いただけます。



# プログラム

## 第一部 古典

### 端唄～四季の風～

◆川風 ◆秋の野に出て ◆我がもの ◆春風 ◆三下りさわぎ

### 現代の“うた”の四季

◆若紫のうた／桑原 ゆう ◆秋風／本條 秀太郎 ◆委嘱初演作品 タイトル未定／小出 稚子  
◆そでひちて～三味線と声のための／藤倉 大

## 第二部 現代

◆ honj II / 坂本 龍一 ◆ ハムレット生死[英語版] / 高橋 悠治  
◆ 秋田荷方節に寄せて / 本條 秀太郎 ◆ IZUMI / 音楽舞踊劇「IZUMI」より ★  
◆ 螺旋 / 北爪 道夫 ★

★は平山素子(コンテンポラリー・ダンサー)とのコラボレーションとなります。

※曲目は変更となる場合がございます。

## Profile (プロフィール)



### 本條 秀慈郎 “Hidejiro Honjoh”

本條秀太郎に師事。桐朋学園短期大学部卒。ACCフェロー受給によりNYに留学。文化庁文化交流使。ロンドンウィグモアホールリサイタル。NYタイムスに取り上げられる。BBCラジオ出演。ジョン・ケージらが務めたアメリカU.C DAVISアーティスト・イン・レジデンス選出。藤倉大作曲「三味線協奏曲」を世界初演し国内外で再演。坂本龍一と三度共演。芸術選奨文部科学大臣新人賞。文化庁芸術祭新人賞。出光音楽賞。京都青山音楽賞青山賞。宇都宮エスペール賞。創造する伝統賞。長谷校校記念くまもと全国邦楽コンクール最優秀賞・文部科学大臣賞受賞。一柳慧作曲「ヴァイオリンと三味線の二重協奏曲」を世界初演し公演は第77回文化庁芸術祭大賞を受賞。指揮者 秋山和慶、井上道義、大野和士、杉山洋一、鈴木優人、シルヴァン・カンブルラン、ロベルト・フォレス・ベセスラ指揮のもとN響、都響、読売日響、名フィル、OEK、新日フィル、日フィル、東フィル、シティアフィルと共演。NHKの邦楽番組やTV朝日「題名のない音楽会」等出演。J-TRAD Ensemble MAHOROKA、Spice Quartet、現代クリエーショングループ淡座メンバー。



### 【特別ゲスト】平山 素子 “Motoko Hirayama” (コンテンポラリー・ダンサー)

静謐さと昂揚を自在に奏でるダンサーとして観客の熱い支持を集め、2006年S.ザハロワ(ボリショイ劇場バレエ団)に「Revelation」を提供し振付家として頭角を現す。07年新国立劇場「Life Casting」で朝日舞台芸術賞、08年「春の祭典」で芸術選奨文部科学大臣新人賞、江口隆哉賞受賞。16年スペイン・バスク地方やアイヌ伝承音楽とのコラボレーション作品「HYBRID」では大規模な欧州ツアーを成功させた。以降、音楽家との共演も数多く、22年には三味線奏者の本條秀慈郎、アイヌ・ウポポを唄う床絵美との音楽舞踊劇「IZUMI」を発表した。その他、ミュージカルの振付や各種コンクールの審査員、アーティストックスイミシングやフィギュアスケートの日本代表選手の表現指導を手がけるなど活動は多岐にわたる。現在 EPAD(舞台芸術アーカイブ・デジタルシアター化支援事業)にて「POISON リ・クリエーション」(2019)、「『フーガの技法』を踊る」(2023)を全編無料配信中。

筑波大学体育系准教授。http://motokohirayama.com/

### 【解説】野川 美穂子 “Mihoko Nogawa”

日本音楽研究家。東京藝術大学大学院修了。お茶の水女子大より博士号取得(人文科学)。東京藝術大学、法政大学ほか非常勤講師。著書に「地歌における曲種の生成」(第一書房、2006)。共著に「日本の伝統芸能講座 音楽」(淡交社、2008)、『まるごと三味線の本』(青弓社、2009)、『ビジュアル 日本の音楽の歴史』(ゆまに書房、2023)など。清栄会奨励賞、志田延義賞(日本歌謡学会)受賞。文化庁文化審議会専門委員、芸術選奨選考員、賢順記念全国箏曲コンクール審査員、くまもと全国邦楽コンクール審査員などを歴任。

## 交通アクセス

### 青葉の森公園芸術文化ホール

住所: 〒260-0852 千葉市中央区青葉町977-1 TEL:043-266-3511



- JR千葉駅中央改札(東口)より  
2番のりば 星久喜台経由「ハーモニープラザ」下車 徒歩約8分  
7番のりば 「中央博物館」下車 徒歩約10分



- JR蘇我駅東口より  
2番のりば 大学病院行き「芸術文化ホール」下車 徒歩約5分



- 京葉道路 松ヶ丘インターより約10分
- 千葉東金有料道路 千葉東インターより約10分

